

ともに、未来を創ろう

山添藤真



ご挨拶

この度の東日本大震災により被害にあわれた皆様に関心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々と遺族の皆様に対し、心よりお悔やみを申し上げます。皆様方には震災発生直後から篤い復興支援を頂いておりますが、今もなお一万人を超える方々の行方が分からない等、事態収束の見通しもついていないのが現状でございます。引き続き、皆様の温かいご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

『一人ひとりを包摂する社会の実現に向けて』

*社会的包摂II社会から孤立してしまった人々をもつ一度社会の中に包摂しようという政策理念のこと。

山添 当町でも、家族や地域社会などのお互いが支え合う機能が失われた結果、孤立化というリスクを抱えながら生きる人々が少なからずおり、孤立化をふせぐための施策を講ずる必要があると思っております。

町長 高齢者の一人暮らしが進行するなど、孤立化の現状は進行していると考えており、さらに長引く地域経済の低迷は、生活保護世帯の増加や自殺者の数に表れ、大変厳しい町の現状を映し出していると考えています。ボランティアや町民の皆様と支え合う町づくりを更に追及していきたいと考えています。

『地域活性化策を問う』

山添 都会で暮らす与謝野町出身者の人々とのつながりを大切にしていくことは今後のまちづくりを考えていくうえで大切なことと思っております。

町長 東京丹後人会に出席するなどして、つながりの維持の努力をしている。

山添 丹後地方の近隣市町村と連携し、東京・大阪丹後人会との関係を図ってみては。

町長 いまのところ考えていない。

平成23年度一般会計予算

『地域内の循環型経済の確立について』

山添 地域内における循環型経済の構築を目的とする事業の一つに住宅改修助成事業があるのはなぜか。

建設課長 住宅の新築及びリフォーム等に対する支援である。この事業により町内業者の仕事を促進し、地域内でお金が循環するように数年前から制度を設けている。

山添 そのお金は本当に地域を循環しているだろうか。請負業者や助成を受けた方々の消費行動を把握していなければ、お金が地域内を循環しているとは言いがたいと思っております。

建設課長 確かに明確に把握しているとは言いがたい。来年度には消費行動の調査をしたいと思っております。

山添 地域内で経済が循環する仕組みを構築するためには地域内の企業間連携体制の確立が必要だと考えるが。

商工観光課長 商工会とも連携して連携強化を進めていきたい。

平成23年2月28日～3月29日までの会期中、第36回平成23年度3月定例会が行われました。本定例会は平成23年度与謝野町の一般会計・特別会計・水道事業会計を合わせた予算(約197億)などの議案を審議しました。本活動報告では、私の一般質問と当初予算に対する質疑をご紹介します。

山添藤真による一般質問

活動報告



同窓会

1月21日(金)に大阪市内で同郷会を開催しました。同郷人が同郷人を呼ぶとても楽しい会になり、様々なふるさとをめぐる話をすることができました。特に市内で事業を立ち上げている方とは「ふるさと納税の仕方」等、具体的な話をすることができました。

*京都府北部管内の高校生が高校卒業時に故郷を離れる割合は約八割にのぼると言われています。『そんな彼／彼女達』... 故郷を離れて、一生懸命に生きる若者世代の今を追いかけてみたいという思いより、全国各地で同郷会を開催しています。参加を希望してくれる方は下記までご連絡下さい。



楽しい交流会

2月20日(日)に『NPO 法人丹後の自閉症児を育てる会』が主催される京都府北部の発達障害をかかえる家族の集い交流会に参加してきました。子ども達と一緒にお菓子を作る楽しい交流会でした。3時間程の交流会でしたが、本当にアツという間に時間が過ぎてしまいました。

*写真はイベントの一環で行われた、与謝野町内石田在住のマジシャン糸井さんの出し物です。

福井原発に関する調査

僕は、日本にあるすべての原発、特に丹後地方に一番近くに位置している福井の原発群の状況が気になって仕方ありません。だから、僕は福井県にある原発に関する調査を独自で始めることにしました。

4月8日(金)に敦賀市市役所内原子力安全対策課と福井県原子力環境監視センターを訪れヒアリングを行いました。まず僕が受けた印象は、敦賀の街は静かすぎるということでした。福島の大規模な事故後も原発の安全性について市民から役所への問い合わせは一日数件しかなく、4月24日の市長選挙に反原発を掲げて立候補を表明している候補者は一人もいない、とのことでした。

ホームページ開設のお知らせ

ホームページにて山添藤真の日頃の活動をリアルタイムでお伝えしておりますので、どうぞご覧下さい。

www.yamazoetoma.com ツイッはじめました。twitter.com / Toma_Yamazoe

連絡先

山添藤真後援会 〒629-2263 京都府与謝郡与謝野町字弓木493番地
TEL: 0772-46-2031(携帯 080-2077-4591) FAX: 0772-46-4394
EMAIL: toma.yamazoe@gmail.com

都会で頑張る丹後人 1



前野達弥君(与謝野町男山地区出身)の思いとこれから
-絆を構築しやすい環境づくり-

神戸大学卒業後、建設会社に入社。マンションの設計に携わる中、老朽化したマンション内での高齢者の孤独死の事例を知る。都市における孤立、無縁社会への強い違和感を持ったと同時に、建物を設計するだけでは、この問題は解決できないと考えた。そんな中、訪れたとある喫茶店で、店主を中心に多くの近隣住民が集まり、暖かく素敵なコミュニティが形成されている情景を目にする。そこは人と人の絆が溜まった場所、「キズナタマリバ」となっていた。もしそんな場所が身近にあれば、もっと人はつながれるはずだと考え、キズナタマリバを見つけ、それを見える化した「絆の地図」をつくろうと思い立った。

現在は働く傍ら、共感者とともに地図の試作品づくりに取り組んでいる。一方で、地図づくりはあくまでもミッションを達成する一つの手段ととらえている。重要なことは、「キズナタマリビト」を増やすことであり、そうすることで「絆を構築しやすい環境」は加速度的に充実していくものと考えている。自身が設定した「キズナタマリ」のコンセプト、「キズナタマリビト」の定義は、現在追究している最中だが、その研究を続け、得られた成果を実社会に応用し貢献できるよう、今後は地図づくり以外のイベントやワークショップ等、様々な実践活動を予定している。